

やすくに もり

靖国の杜の反省会

8月15日の
全国紙3紙
「終戦記念日」
広告に掲載!

—あの戦争の真実を知る11人の証言—

早瀬利之 著 四六判ソフトカバー 230頁 定価(本体 1,700円+税) ISBN978-4-8295-0595-3

平成8年8月15日深夜、あの戦争のキーマン11人が靖国の杜に集まった!
なぜ、誰のために戦ったのか、何を間違えたのか、本音で語り合った反省会

設定は架空だが、
内容はすべて史料に裏付けられた事実

第一章 日米交渉前夜の真相

深夜の靖国に八人の将軍集まる*野村駐米大使、日米交渉を語る*ヒットラーは何度もシンガポールを攻めてくれと言ってきた*ハルノートに満州国は入っていたか

第二章 海軍はなぜ日米開戦に暴走したのか

ルーズベルトの好意*「山本君は、日米は戦ってはならぬと言った」*M工作は読まれていた

第三章 三国同盟の真意

石原、東條に反論す*戦さには勝てば海軍の手柄*蒋介石との交渉は外相と海相がつぶした

第四章 中国の内乱

何応欽の面子*「力は安心の支えになる」* 満州内乱のあとにくるもの

第五章 北支の嵐と不戦十年

昭和維新とは何だったのか*日満重要産業五カ年計画*海軍は南方進出を決め国防国策案に反対した

第六章 林銑十郎の寝返り

宇垣内閣流産と林組閣へ*板垣陸相案をつぶした寺内の腹のなか*石原の陸相入閣条件三項目

第七章 蘆溝橋事件の真犯人

石原「軍部は国家の触角である」*北支からの報告では「抗日一色なり」*現地での解決協定調印、参謀本部に届かず

第八章 近衛・ルーズベルト会談の御破算

撤退項目に満州も入っていたのか*「海軍は天皇陛下をだました」* いざ戦争となったらいざこの新聞も軍の報道機関になる

第九章 山本五十六の死は自殺だったのか

アメリカはハワイ奇襲を知っていた*ミッドウェー海戦は山本の失敗*昭和の和平工作を誰がつぶしたのか

第十章 終戦工作と「義命」

十二年八月、船津工作を川越大使がつぶす*東條・嶋田暗殺計画とは……*近衛の、ソ連仲介による和平工作*終戦詔書に「義命」があったなら*日本は最後のサムライの国



松井石根
陸軍大将



杉山 元
陸軍大将



板垣征四郎
陸軍大将



石原莞爾
陸軍中将



野村吉三郎
海軍大将



米内光政
海軍大将



嶋田繁太郎
海軍大将



井上成美
海軍大将



東郷茂徳
外務大臣



迫水久常
書記官長



緒方竹虎
(司会)

早瀬利之 (はやせ としゆき)

1940年長崎県生まれ。昭和38年鹿児島大学卒業。石原莞爾研究者。著書に、『将軍の真実・松井石根将軍の生涯』、『石原莞爾満州合衆国』、『石原莞爾満州備忘ノート』、『サムライたちの真珠湾』、『石原莞爾国家改造計画』、『南京戦の真実』(以上、光人社NF文庫)、『奇襲』(南日本新聞開発センター)、『石原莞爾 マッカーサーが一番恐れた日本人』(双葉新書)などがある。軍事雑誌『丸』に「参謀本部作戦部長石原莞爾『国家百年の計』三宅坂の夏」を連載中。日本ペンクラブ会員、満州研究会会員。

8月上旬 新刊搬入予定です

配本部数申込締切は 7月26日(金) です

FAX 03-3813-4615

芙蓉書房出版

〒113-0033
東京都文京区本郷3-3-13
http://www.fuyoshobo.co.jp
TEL. 03-3813-4466
FAX. 03-3813-4615

発行 芙蓉書房出版	注文数	注文者
靖国の杜の反省会		
8月新刊 本体 1,700円	部	